## 安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: ルチン三水和物会社名: 関東化学株式会社

住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1

担当部門 : 試薬事業本部 企画管理部 資料課

電話番号 : 0120-260-489 FAX番号 : (03)3241-1047

メールアドレス : BC32@gms. kanto. co. jp

整理番号 : 36508

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外 自然発火性固体 : 区分外

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品

化学名又は一般名 : ルチン三水和物

成分及び含有量 : ルチン三水和物 97.0%以上

化学特性(示性式): C27H30016・3H20

官報公示整理番号

化審法 : 設定されていない

安衛法 : -

CAS No. : 153-18-4

4. 応急措置

吸入した場合: 直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。

皮膚に付着した場合: 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。

目に入った場合: 直ちに流水で十分に洗い流す。

飲み込んだ場合 : 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受け

る。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡

使ってはならない消火剤 : 特になし

特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散

水して冷却する。

消火を行う者の保護: 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置



作成日 2003/09/09 改訂日 2017/03/28

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉

塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ 環境に対する注意事項

流出しないように注意する。

: 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。 回収、中和

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

: 皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用す 技術的対策

る。

注意事項 : みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。

保管

適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。

: ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど 安全な容器包装材料

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使

用する。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会(2009年度版)

: 設定されていない

ACGIH (2009年度版) : 設定されていない

保護具

呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防じんマスクを着用する

手の保護具 : 不浸透性保護手袋 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

形状 : 粉末

色 : 淡黄色-黄緑色

臭い : 無臭またはわずかな特異臭

: データなし рΗ 沸点 : データなし

融点 : 分解 (211-215℃)

密度 : データなし

溶解性

溶媒に対する溶解性 : 水 ; 不溶

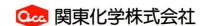
有機溶媒 : ピリジンに易溶、メタノールに可溶、グリセリンに微溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件で安定である。

: 強酸化剤と接触すると、反応することがある。 反応性

避けるべき条件 : 日光、熱



混触危険物質 : 酸化剤 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口:データ不足のため分類できない

経皮:データ不足のため分類できない

吸入(蒸気):データ不足のため分類できない

吸入(粉塵・ミスト):データ不足のため分類できない

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

皮膚に対する刺激性は軽度なので、区分外とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: データ不足のため分類できない

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: 呼吸器感作性:データ不足のため分類できない 皮膚感作性:データ不足のため分類できない

生殖細胞変異原性: データ不足のため分類できない発がん性: データ不足のため分類できない生殖毒性: データ不足のため分類できない

特定標的臓器・全身毒性-単回暴露

: データ不足のため分類できない

特定標的臟器 · 全身毒性-反復暴露

: データ不足のため分類できない

吸引性呼吸器有害性 : データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 : 水生毒性(急性):データ不足のため分類できない

水生毒性(慢性):データ不足のため分類できない

残留性/分解性: データなし生態蓄積性: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 可燃性溶剤と混合して、スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。また

は、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制 適用法令なし

国連分類 : 分類基準に該当しない

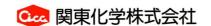
輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転

倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 非該当毒物及び劇物取締法 : 非該当



改訂日 2017/03/28

労働安全衛生法 : 非該当

16. その他の情報

引用文献 有機化合物辞典、有機合成化学協会編、講談社(1985)

\*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。